

住民意向調査速報版（双葉町・富岡町）の公表について

原発事故による避難者等に対する住民意向調査について、双葉町、富岡町の住民を対象とした調査結果を取りまとめました。

1. 調査概要

双葉町

調査主体 復興庁、福島県、双葉町
調査対象 世帯の代表者（3,126世帯）
実施期間 令和3年8月23日～9月6日
回答者数 1,494世帯（回収率47.8%）

富岡町

調査主体 復興庁、福島県、富岡町
調査対象 世帯の代表者（6,248世帯）
実施期間 令和3年8月30日～9月13日
回答者数 2,980世帯（回収率47.7%）

2. 調査結果のポイント

別紙1～2のとおり

本件連絡先
（原子力災害復興班）担当：栗原、高橋
電話：03-6328-0250（直通）

双葉町調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・ 復興庁、福島県、双葉町の共同調査は 10 回目。

(1) 帰還の意向

戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）	11.3%（10.8%）
まだ判断がつかない	24.8%（24.6%）
戻らないと決めている	60.5%（62.1%）

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(R2.8)結果

(2) 帰還を判断するために必要なこと（上位抜粋）

医療・介護福祉施設の再開や新設	48.2%（41.9%）
商業施設の再開や新設	28.8%（29.3%）
上下水道等ライフラインの整備状況に関する情報	25.6%（20.3%）
双葉町の今後の姿	15.9%
JR 双葉駅西側に整備する新たな公営住宅に関する情報	14.6%

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

※令和3年度からの新規回答項目については、令和3年度結果のみ記載

(3) 戻らないと決めている理由（上位抜粋）

避難先で自宅を購入または建築し、将来も継続的に居住する予定だから	56.6%（56.8%）
医療環境に不安があるから	45.7%（51.1%）
避難先の方が、生活利便性が高いから	39.5%（39.8%）
生活に必要な商店などが元に戻りそうにないから	34.1%（37.6%）
水道水などの生活用水の安全性に不安があるから	31.0%（33.9%）

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答

富岡町調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・ 復興庁、福島県、富岡町の共同調査は 10 回目。

(1) 帰還の意向

既に富岡町で生活している	9.5% (9.2%)
戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)	9.5% (8.3%)
戻りたいが、戻ることができない	17.0% (16.8%)
まだ判断がつかない	13.0% (14.8%)
戻らないと決めている	49.3% (48.9%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(R2.8)結果

(2) 帰還を判断するために必要なこと (上位抜粋)

医療機関 (診療科) の拡充	53.9% (60.6%)
商業施設の充実	45.4% (44.9%)
介護・福祉施設の充実	33.0% (37.7%)
どの程度の住民が戻るかの状況	31.7% (31.8%)
原子力発電所の安全性に関する情報 (事故収束や廃炉の状況)	26.3% (20.9%)

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

(3) 戻らないと決めている理由 (上位抜粋)

すでに生活基盤ができているから	65.2% (60.1%)
避難先の方が、生活利便性が高いから	40.3% (38.7%)
医療環境に不安があるから	30.0% (32.5%)
原子力発電所の安全性に不安があるから	23.6% (25.2%)
生活に必要な商業施設などが不足しているから	22.9% (24.8%)

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答